

女性の活躍推進に関する行動計画を策定しました

2016年3月

時事通信社

時事通信社は、女性が能力を十分に発揮して活躍できる職場づくりを目指し、2020年度末まで5年間の行動計画を策定しました。計画は以下3つの目標を柱にしています。

▽全社員に占める女性の割合を20%超へ引き上げる

▽女性の5年以内離職率を男性と同水準まで引き下げる

▽平均勤続年数の男女差を可能な限り縮小させる

全社員に占める女性社員の割合は漸増傾向にあります。定年退職者のほとんどは男性社員であり、採用時の男女均等を今後もおおむね維持することで、男性に偏っている社員比率を徐々に適正化していきます。その通過点として、20年度末には女性社員の比率を20%超へ引き上げることを目指します。

就業後5年以内に辞める「5年以内離職率」は女性が男性を上回っています。入社後数年の社員を対象にしたフォローアップ研修の拡充などを通じて社員の悩みや不満の早期把握と解消に努め、女性の離職率を男性と同水準まで引き下げます。

16年4月に離職者復職制度を導入します。女性の同制度利用が増えれば、キャリアの中断はあっても自らの能力を中長期的に活用することが可能になり、女性よりも男性の方が長い平均勤続年数の乖離を実質的に縮小できると考えられます。

女性が実力を発揮し続けられる労働環境の整備は、性差や年代を超えてやりがいを感じて働ける職場の基礎になります。一連の取り組みによって魅力ある企業であり続けられれば、若い人材の確保と定着につながり、組織力の強化に資すると考えます。今後は行動計画の進捗状況を踏まえ、改善を重ねてまいります。

以上